

地域志向活動型アクティブ・ラーニングのカリキュラムマネジメントとSDGs達成に向けての地域課題解決策の実践

主な連携先地域：
墨田区、上尾市、さいたま市



<p>対象地域の 特徴や課題</p>	<p>「環境システム応用演習A/B（3年）」においては、大宮キャンパスがあるさいたま市内、さいたま市以外の県内地区、東京都内地区、北関東対象地区他を対象として、複数チームを編成して実施している。本演習では各地域において現地調査や関係者ヒアリングを実施のうえ、建築・都市・環境の視点から地域課題を解決する提案作成を行っている。中間及び最終発表には各地区の関係者に出席いただき（対面・オンライン）意見交換するなど、地域志向活動型アクティブ・ラーニングを実践するものとなっている。また履修学生へのアンケートを授業前・後に実施し、目標の達成度、および現地のSDGs達成にどの程度貢献できたかを把握している。</p>
<p>取り組みの概 要や特徴</p>	<p>これまで環境システム学科で取り組んできた以下のCOCプロジェクトの成果を踏まえ、学科カリキュラムにおける「地域志向活動型アクティブ・ラーニング」の確立と、全教員の参画と地域関係者の協力のもと、学科の総力を挙げて「国連SDGs達成に向けての学科独自のSDGsに基づく地域課題解決策の実践」に取り組むものである。 「社会人基礎力向上を目指す地域志向活動型アクティブ・ラーニングのカリキュラムマネジメントと教育アセスメント」「公民学連携による高齢化社会対応まちづくり研究-サテライトラボ上尾の全世代型サードプレイスと地域教育研究拠点」「気候変動と地震災害に適應したレジリエントな地域環境システム」「学生主体のSDGs協働プロジェクトによる地域課題の解決策の実践」</p>
<p>主なプログラ ムなど</p>	<p>【墨田区】「すみだテクノプラザ」を拠点として、多様な防災まちづくり活動、まちづくり支援活動を学生が地域住民と共に実践 【上尾市】「サテライトラボ上尾」をまちづくり拠点として超高齢化に対応した都市環境の形成等の地域課題に対応するための実証的な研究・教育を実践 【さいたま市】脱炭素先行地域に関連するさいたま市との連携・協働やポスト東京2020大会の都市環境計画</p>
<p>担当研究室名/ 担当教員</p>	<p>環境基盤研究室 増田 幸宏教授 都市計画研究室 作山 康教授 防災空間計画研究室 中村 仁教授 環境設計研究室 鈴木 俊治教授 建築設計情報研究室 澤田 英行教授 建築空間デザイン研究室 松下 希和教授 建築構造システム研究室 石川 裕次教授 地域創生研究室 中口 毅博教授 環境政策研究室 袖野 玲子教授 エネルギー・システム工学研究室 磐田 朋子教授 住居史・デザイン史研究室 真保 晶子教授 経済システム分析研究室 小山 友介教授 社会システム科学研究室 市川 学教授 サイバーセキュリティ研究室 持永 大准教授 山崎 一也 特任教授 田口 博之 特任教授</p>
<p>関連サイト</p>	<p>芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 https://www.paes.shibaura-it.ac.jp</p>

